2026 年末
第 2 回団交報告

JLUニュース

No 1097（18－08）
航空連 日本航空ユニオン
中央執行委員会
2026年 10月 30日

Tel：03−5756−8690 URL http://www.jlu.co.jp e-mail honbu@jlu.co.jp

11.04 の回答前に職場の思いを伝える

10 月 27 日 9:00～10:00、26 年末第 2 回目の団交を行いました。会社側は、大堀人財本部長、村田人財戦略部長、人財戦略部メンバー＋整備本部 JGZ から 2 名の合計 9 人、組合側は佐藤委員長を含めて 7 人が出席しました。以下、団交ダイジェストです。詳細は WEB で限定公開しています。

■ベースアップの後も物価上昇が続いている。一時金で対応してほしい

1 万 2,000 円のベアだけでは、物価上昇に追いついていない。春に決めた仕組みをそのまま運用するだけでなく、年末一時金で少しでも補うなど、柔軟な対応ができないか。



物価の短期的な変動に合わせて対応するのではなく、1 年程度のトレンドを捉えてベースアップを検討する。ベアと賞与では性格や決め方が異なり、短期的な調整を賞与に組み込むことは考えにくい。

■日帰り出張の負担に対して支払えるものはないのか

日帰り出張は、普段と違う職場への移動だけでなく、重い荷物や高額な NDI 機器を持っての移動もある。受託作業で会社の収益につながる仕事を担っているのに、通常勤務と同じ扱いでよいのか。パーディアムに限らず、何らかの配慮が必要だ。



現時点で手当など金銭面での対応は考えていない。勤務の組み方や機器の輸送など、移動の負担を減らす方法を引き続き議論したい。

■今年の熱中症対策はどうだった？来年の課題は？



今年はポロシャツの試行を開始し、羽田ではキャビン内の風量を増強するなど、作業環境の改善を進めた。一方、サイズや機能面の課題も認識している。来年度に向けて、皆さんの声を聞き、改善点を検討していく。

ポロシャツは配布の遅れやサイズの問題で不満の声を聞いている。厳しい暑さの中での作業は、ポロシャツや設備改善だけでは対応しきれず、自費で冷却用品を用意する人もいる。冬の寒さや雨・雪の中でも作業は続く。現場任せにせず、屋外作業手当で補完すべきだ。

単身赴任の別居特任 LT 制度の改善を求める

●単身赴任制度を改善すること
●LT 制度に関する要求
① LT00/LTZL の予約可能時間を 24 時間前とすること。
② LTZL の一部を一般旅客と同枠での事前予約を可能とすること。
③ クラス J に空席がある場合、差額を支払うことで有償での利用を認めること。
④ 適用範囲を 2 親等まで広げ、子供の搭乗資格年齢制限をなくすこと。
⑤ ファミリークーポンの運賃を 8 割引にすること。



■単身赴任制度に、別居特任航空券は重要です。別居特任 LT「予約あり」で予約して、下ろされた時に、「予約なし」と同じ扱いになる一方、税金の負担が生じるなど、制度上の課題があります。こうした利用者からの声を会社に伝え、改善を求めました。

■会社の考え

◆ **予約時間の前倒し**:暦日にこだわっているわけではないが、収益性を高めるため、販売できる座席はできるだけ直前まで確保したい。運賃間のバランスを考慮し、現在の予約時間を設定している。

◆ **予約ありの別居特任で搭乗できない問題**:予約なしの別居特任とは区別し、優先的に降ろされない仕組みを設けている。発生件数はゼロではないが、予約しても搭乗できないことや、そもそも空席がないことは課題と認識しており、少しずつ改善したい。

◆ **単身赴任者向けの専用座席枠**:専用枠の新設について、明確に実施するとの回答はなかった。会社は、予約しても搭乗できない問題などを課題として認識している。

◆ **予約から外された場合の税金**:税務上の取り扱いやシステムで変更できるかについては、税金の扱いについては、予約していた便に乗れなかった場合と、当初から別の便を利用した場合をシステム上で区別できていない実情がある。

◆ **LT の適用範囲・子供の年齢制限**:対象範囲の拡大など、さまざまな要望を総合して検討している。一方、制度を進めるうえでのハードルがある。それは今でも利用率が高く、空いている席が少ないこと。だから利用しにくくなる懸念もあるため慎重に考えている。

詳細は WEB で
PHP 脆弱性の対応済み

パスワード等お問い合わせは
公式 LINE から

【日本航空ユニオンニュース 1097(18－08)号】